

未来を協創する
高原文化のまち

葛巻町総合計画後期基本計画

葛巻町デジタル田園都市国家構想総合戦略

ダイジェスト版



岩手県葛巻町

・ 未来を協創する 高原文化のまち ・

町の宝物を活かしながら、未来に思いを抱き希望に満ちたまちづくりを進めるため、町民みんなが協力し支え合い、地域が連携し、新しいものを創り上げていく「協創」の姿勢で、高原の美しい自然から生まれる産業と暮らしをもとに、他に誇りうる高原文化のまちとして育て発展させていきます。



計画策定にあたって

葛巻町は、平成28年3月に「未来を協創する 高原文化のまち」を将来像とする「葛巻町総合計画基本構想」を策定し、その実現に向け3つの基本目標を掲げ、町が持つ多面的な資源を最大限に活用して各種振興施策の積極的な展開を図ってきました。

総合計画中期基本計画及び総合戦略が令和5年度末をもって終了することから、これまで推進してきた施策を総合的に評価・検証し、「葛巻町総合計画後期基本計画」及び、国や県の総合戦略を勘案した第3期総合戦略として「葛巻町デジタル田園都市国家構想総合戦略」を一体的に策定するものです。



幸せを実感できるまち

まちづくり
の姿勢

新たな発想

自立への挑戦

資源の探求

協働から協創へ

まちの
将来像

未来を協創する 高原文化のまち

まちづくり
の視点

こころの通い合い
を大切にする

あしもとの宝を
磨き輝かせる

未来に向かって
果敢に挑戦する

まちの
基本目標

いきいきと輝き続ける
“ひと”

誰もが住みたくなる
“まち”

地域資源を活かす
“しごと”

施策の
大綱

子どもを安心して産み
育てられる子育て支援

❖子育て環境の充実

学び輝く人づくりと
葛巻を愛する人材育成

❖教育の充実
❖生涯学習の充実と文化の
継承
❖生涯スポーツの推進

誰もが生きがいを持っ
て暮らすことができる
環境づくり

❖保健・医療の充実
❖福祉の充実

協創のまちづくりの
推進

❖協創のまちづくり
❖男女共同参画社会の推進

快適に暮らせる
生活環境の創出

❖生活環境の整備
❖交通・通信ネットワー
クの整備

自然と共生し
地域の豊かな資源を
活用するまちづくり

❖自然環境の保全と土地の
利活用
❖再生可能エネルギーの推
進

こころ穏やかに
安全安心に暮らせる
地域社会づくり

❖防災対策・消防・救急体
制の充実
❖交通安全・防犯・青少年
問題対策の充実

基幹産業の新たな展開
による高収益産業の
実現

❖農業の振興
❖林業の振興
❖農林産物加工の振興

交流・連携の強化に
よる地域産業の育成

❖商工業の振興
❖観光の振興
❖交流・連携の推進

地域資源を活かした
起業支援と雇用の確保

❖起業支援と雇用の確保

計画の推進

行財政運営の合理化

広域行政の推進



基本方針

町の人口は、昭和35年の15,964人をピークに減少し続け、令和2年の国勢調査では5,634人まで落ち込んでいます。

このような中、町では3つの基本目標を掲げ、令和22年(2040)に4千人台の人口確保を目指して、人口減少対策・地方創生に重点的に取り組んできました。その結果、「人口の社会動態」が改善傾向にあるなど、これまで取り組んできた各種施策の効果が少しずつ表れているところです。

こうした状況を踏まえ、町では、最重要課題である「人口減少対策・地方創生」に継続して取り組むとともに、デジタルの力を活用しつつ、社会構造の変化や人口減少に対応した、持続可能な地域社会の構築に取り組んでいきます。

人口減少対策

出生数の増加や若者世代のU・I・Jターン者の増加により人口を増加させる取り組み、あるいは、人口の減少を緩やかにする取り組み



人口減少対応

人口が減少しても（人口4千人台でも）機能するまちづくり・持続可能な地域社会の仕組みづくり





重視する視点

1

町の魅力を高め、持続可能な地域社会をつくる

人口減少対策、あるいは人口減少に対応したまちづくりを推進するためには、町の未来を担う子ども達が「夢」と「誇り」を持ち、「住み続けたい」と思う環境を整備することが重要です。

また、町の魅力向上により、移住者をはじめ、多様な形でまちづくりに関わる関係人口や交流人口の創出・拡大により、持続可能な地域社会の構築を目指します。

2

関係人口の創出・拡大

「関係人口」とは、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。地方圏では、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

ふるさと納税者や葛巻ファンをはじめ、様々な取り組みを通して、一定期間を町で過ごした人達と継続的につながりを持ち、関係人口の創出・拡大に努めます。

3

先端技術の活用(Society5.0の実現)

IoT (Internet of Things)や人工知能(AI)等の先端技術の活用により、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題の克服が期待されています。農林商工業や観光産業をはじめ、あらゆる分野において、先端技術の積極的な活用を検討していきます。

※Society5.0とは、狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)」で、我が国が目指すべき未来社会の姿のことを指します。

4

持続可能な社会の実現(SDGsの推進)

町では、21世紀の地球規模での課題とされる「食料・環境・エネルギー」に貢献する取り組みを積極的に進めてきており、SDGsの推進は、これまでのまちづくりと相通じるものです。

本計画においては、各施策と17の持続可能な開発目標を関連付け、町民をはじめ、町、関係機関、団体、企業、NPOなどの地域社会を構成する多様な主体がそれぞれ連携しながら取り組んでいきます。

※持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。この目標は、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

5

地域マネジメントの推進

地域の強みを最大限に活用して地域外市場から稼ぐ力を高め、効率的な経済循環を創り出すとともに魅力的で多様な雇用機会の創出と所得の向上を実現する必要があります。

そのため、地域経営の視点を持ち、地域経済社会構造全体を俯瞰して、中・長期的なビジョンに基づく地域マネジメントに取り組めます。

戦略

1

循環する“ひと”づくり

～地域で育み、社会で活躍する人材の育成と確保～



町の次代を担う子どもたちが、未来への希望を持ち、健やかに成長することができるよう支援し、子育て世代に選ばれるまちづくりを目指すほか、町民一人ひとりがまちづくりに参画し、共に手を取り合ってまちづくりを進めます。

1 結婚・出産・子育てなどに応じた支援の充実

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
子育て世代(20～30代の単身及び夫婦)の移住件数	5世帯/年	10世帯/年
子ども(0歳～18歳)の移住者数	—	5人/年
婚姻数	6件/年	10件/年
合計特殊出生率	1.47	2.10

具体的な事業

- 移住対策推進事業
- いらっしゃいくずまき暮らし体験事業
- 出会いサポート事業
- 新婚ライフサポート事業
- マタニティライフサポート事業
- 出産祝金支給事業



2 連携による子育て支援

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (小学校)	県平均以上 (97.1%)	県平均以上 (90.0%)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (中学校)	県平均以下 (72.7%)	県平均以上 (80.0%)

具体的な事業

- 就学前教育充実事業
- 子育て環境充実事業
- 在宅子育て支援事業
- 学び輝く“ひと”づくり支援事業(学用品費等)
- 学び輝く“ひと”づくり支援事業(給食費)
- 学び輝く“ひと”づくり支援事業(高等学校)



3 社会で活躍する人材教育

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和9年度)
葛巻高校への入学者数	40人/年	➡	45人/年
連携中学校から葛巻高校への進学率	72.7%/年	➡	80.0%/年
近隣市町村から葛巻高校への入学者数	10人/年	➡	10人/年
山村留学制度による葛巻高校への入学者数	6人/年	➡	15人/年

具体的な事業

- コミュニティスクール事業
- くずまき山村留学・地域みらい留学推進事業
- 葛巻町学習塾運営事業
- 給付型奨学金事業
- 文化活動支援事業
- 地域運動部活動推進事業



4 みんなで支え合う環境づくり

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)
ボランティア登録者数	275人	➡	300人
協創のまちづくり推進事業実施自治会数	8自治会/年	➡	28自治会/年

具体的な事業

- ボランティア活動推進事業
- 地域包括ケアシステム構築事業
- 高齢者見守り支援事業
- 障がい者共同住宅・グループホーム整備事業
- 協創のまちづくり推進事業(協創のまちづくり補助金)



戦略

2

持続可能な“まち”づくり

～魅力を高め、活力ある生産基盤の形成～

町民が、安全安心に幸せな生活を送ることができる環境を整えるとともに、生活や経済活動に重要な新たな基盤整備を進めます。

1 魅力を高める交通ネットワークの充実

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)
道路改良率	72.3%	➡	73.0%
路線バス1便当たり利用者数(町内路線)	4.33人	➡	4.33人

具体的な事業

- 道路整備事業
- 北岩手・北三陸横断道路整備促進事業
- バス路線運行拡大支援対策事業



2 脱炭素社会の推進

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)
エコ・エネ総合対策補助金(新エネ設備)申請件数 (計画期間中累計)	15件 (R2-R5)	➡	60件
エコ・エネ総合対策補助金(省エネ設備)申請件数 (計画期間中累計)	44件 (R2-R5)	➡	60件
再造林率	45.1%	➡	50.7%

具体的な事業

- エコ・エネ総合対策事業
- バイオガス発電設備整備事業
- 再生可能エネルギー導入事業
- 公有林整備事業
- 森林保全特別対策事業



3 安全安心で持続可能なまちづくり

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)
看護職員等養成修学資金を活用し町内施設に従事した人数(累計)	4人	➡	10人
消防団員充足率	77.7%	➡	92.4%

具体的な事業

- 医師等確保対策事業
- 看護職員等養成修学資金貸付事業
- 消防団員確保対策事業
- 消防防災設備整備事業



4 人口規模に応じたコンパクトなまちづくり

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)
民間企業等との連携数(累計)	6件	➡	8件

具体的な事業

- 産学官金連携推進事業
- 交流拠点整備事業



5 若者世代が定着できる住環境の充実

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)
若者定着率	32.5%	➡	40.0%
移住者向け住宅物件数(延べ件数)	54件	➡	66件

具体的な事業

- 定住対策住宅取得支援事業
- 定住・雇用促進住宅整備事業
- 空き家利活用促進事業



戦略

3

次代につなぐ “しごと”づくり

～産業・社会・生活のトランスフォーメーション（変化・変革）～



先人たちが築き上げてきた町の産業をさらに発展させ、町の持つ様々な魅力や資源を最大限に活かした仕事づくりや観光振興を図ります。

1 変革による産業の振興

重要業績評価指標（KPI）

現状値
(令和4年度)

目標値
(令和9年度)

生乳（生産量）	33,464 t	➡	40,500 t
新規就業者（農業・林業・商工業）	5 人/年	➡	8 人/年

具体的な事業

- 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）
- 特産品ブランド化確立支援事業
- 雇用促進補助事業



2 若者・女性が活躍できる雇用の場の創出

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)
地元購買率	45.7%	➡	50.0%
新規起業数(計画期間中累計)	2件 (R2-R5)	➡	4件
特定地域づくり事業協同組合派遣職員数 (計画期間中累計)	2人 (R3-R5)	➡	6人

具体的な事業

- 地域おこし協力隊制度活用事業
- 持続可能な産業づくり支援事業
- 企業誘致事業
- 起業家支援事業
- 継業支援事業
- 特定地域づくり事業推進事業

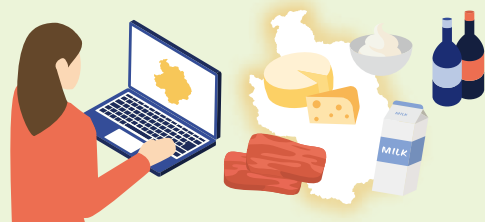


3 観光交流の促進と賑わいづくり

重要業績評価指標（KPI）	現状値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)
観光客入込数	186,526人	➡	578,980人
ライブビジョンアカウント数	2,617件	➡	5,000件
ふるさと納税件数	770件/年	➡	1,400件/年

具体的な事業

- 行政情報発信事業
- 関係人口創出事業
- (仮称)くずまき応援団事業
- ふるさと納税推進事業
- くずまきDMO事業





デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要

1

総合戦略の基本的な考え方

- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢が大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- 東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。
- デジタル技術の活用は、その実証の段階から実装の段階に着実に移行しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、各地域の優良事例の横展開を加速化する。
- これまでの地方創生の取り組みも、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。

2

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
- ② 人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる

デジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤の整備
- ② デジタル人材の育成・確保
- ③ 誰一人取り残されないための取組



岩手県葛巻町

〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町葛巻 16-1-1

TEL.0195-66-2111 FAX.0195-66-2101 <https://www.town.kuzumaki.lg.jp/>

